



外務省の仕事に関して理解を深めた講座

外務省の仕事を解説

松本秀峰で職員出張講座

松本市埋橋2の中高一貫教育校・松本秀峰中等教育学校は24日、外務省職員の出張講座「高校講座」を開いた。同省北米局北米第2課の柴田隆課長補佐が講演し、高校1、2年生に当たる同校の4、5年生160人が聴講した。

松本市埋橋2の中高一貫教育校・松本秀峰中等教育学校は24日、外務省職員の出張講座「高校講座」を開いた。同省北米局北米第2課の柴田隆課長補佐が講演し、高校1、2年生に当たる同校の4、5年生160人が聴講した。

柴田課長補佐は外務省の仕事や仕組みなどについて、人間関係などに例えて分かりやすく解説した。高校・大学時代の思い出や赴任先での体験談も語った。10〜20代のエネルギーを存分に使ってほしいと述べ、「いろんなものにたくさん触れたことが30代以降に生きてくる」とアドバイスした。

地だった韓国やインドでの海外研修を終えた4年生以上の生徒たちを対象に、世界に目を向けた進路を考えてほしいとの願いから開催された。

(降旗玲菜)

柴田課長補佐は外務省の仕事や仕組みなどについて、人間関係などに例えて分かりやすく解説した。高校・大学時代の思い出や赴任

た。

講座は、生徒が進路を考えるきっかけをつくるキャリア教育の一環として行われた。同校が実施するイギリス